

『大久保社長と名伯楽と良縁』の関係

出会いに感謝!



元気印のおじさんの元には福来る!というわけで、毎年恒例の100キロウォークが今年も10月24日～25日にありました。写真のムチャクチャ元気な方は、株式会社 三和ビジネスマシンの大久保社長です。そして、その後ろで少し謙虚なガッツポーズをしているのが、テクアの名伯楽の本田さんです。

大久保社長とは、毎月最終金曜日に東名岡崎インター付近のごみ拾いで意気投合してからのお付き合いです。ずっと営業畑を歩いてこられた苦勞人で、得意技はアポなし営業で、何度お客さんに、事前にアポを取ってから来るように怒られても、最初だけで、すぐに忘れてまた得意のアポなし営業を開始する、とても「たいがい、たいがい」でガッツのあるところが、自分のお気に入りなところですよ。

今回、ごみ拾いが縁で、本田さんと知り合い、週3回夕方からウォーキングのコーチを受けることで、奇跡が起こりました。昨年の100キロウォークでは27時間かかっていたのに、今年はなんと、20時間45分の大記録をたたき出し、骨付きカルビと特上ホルモンと超特上ユッケをおごられました(笑)! 多分、60歳以上で、短縮記録としては最高の記録ではないかと思ます。凄いです! 影の立役者が本田さんです。週3日、たいがいたいがいな方(笑)にきっちり付き添い、コーチを引き受けて、結果まで出しました。

大久保社長が後日、「やはり、人間はきっちりとした目標を持って努力して、事に臨むと結果が出るね!!」とおっしゃられていました。確かにそれは事実です。事実ですが、70キロ地点で大久保社長が本田さんに「もう限界! 本田さん、先行って!!」と泣きを入れたことも事実(笑)。それを聞き入れてもらえずカツを入れられて強引に引っ張って行ってもらったのも事実。縁と愚直な努力の凄さを、今回の本田さんと大久保社長の2人3脚の100キロウォークから学ばせてもらいました。若手社員の鑑とさせていただきます!!

しかし、人間の「縁」とはなんと素晴らしいものでしょうか?

お金や社会的成功も大切ですが、「縁」でつながっている感覚こそが、最も我々を笑顔にし、輝かせてくれるのではないかと思います。



みんないい笑顔でエネルギッシュに、テクア魂のポーズ決めてくれます。経営者としては、まだまだ未熟な自分ですが、いい縁が結べているかもしれません。これからも時間をかけて、丁寧に、一つ一つの縁を花開かせていきたいと思ます。感謝! 羽原篤史



P.S.テクアの最終ビジョンは47都道府県に支店があって、そこでそれぞれの支店長が、また新たな良縁を結び、社会に貢献している姿です。自分の使命は、一生のうちに、その種を植えることです。

47人の支店長の中には、たいがいたいがいでガッツのある営業叩き上げの支店長もいれば、寡黙でコツコツと積み上げ、人を育てるのが得意な支店長もいる。そしてみんな自己成長好きで、それが高じて、他者支援がやめられないとまらない! そんな人達の集団を夢見しています。

